



保健だより



かやの実保育園

もうすぐ梅雨の時期になりますね。じめじめと湿度が高く汗が蒸発しにくいこと、体が暑さに慣れていないことから熱中症になりやすいと言われています。少しずつ暑さに慣れるようにしたり、三食しっかり食べたり、睡眠をしっかりとるなどして予防することも大切です。また、日本各地でインフルエンザが流行していますが、これから夏に向けて、増加する可能性があるとも言われています。引き続き体調管理に気をつけて過ごしましょう。

6月

- 1日～ 身体測定
- 27日 歯磨き指導
(らいおん組)
- 28日 0歳児健診
- 30日 歯科検診

6月4日は 虫歯予防デー

脳の働きが
活発になります

かむことは大切

あごの骨や
筋肉の成長を
助けます

だ液の分泌が
盛んになり、
消化を助けます

歯肉に刺激が伝わり、
歯を支えている骨や組織が
丈夫になります

だ液の分泌により、
食べかすが歯に付くのを
防ぎます

歯科検診があります

30日 9時～

当日の朝はしっかりと朝ごはんを食べ、きれいに歯を磨いてからの登園をお願いします。

大きなお口で「あ〜ん！」
先生にしっかり診てもら
おうね

西東京歯科医院の歯科医が来園します。
当日お休みされますと、後日、西東京歯科医院へお連れ頂くようになります。子どもにとって慣れている保育園で検診が行えるようご協力をお願いします。その時間のみのお登園も可能ですので、事前にご相談ください。

愛情ギュッとず〜っとはむら

水遊びに向けてお願い

今年の夏は、例年並か例年より暑くなる予報だそうです。例年、8月のお盆あたりに暑い日が多く、WBGT(暑さ指数)の結果によっては、天気は良いのに水遊びができない日もあります。また、4月にスイミングスクールで5歳のお子さんが亡くなる痛ましい事故もありました。監視員の人員確保が難しいときには、幼児クラスの大きなプールは中止とすることもあります。ご了承ください。

安全で楽しい水遊びのために、水遊びが楽しめる状態かどうかの確認をお願いします。

① プール開き前の健康チェック

- ◆ アトピー性皮膚炎など、皮膚の状態が悪化する恐れがある場合、受診をし、水遊びができるようにしてください。
- ◆ 中耳炎、鼻炎等慢性疾患のあるお子さんは、かかりつけの医師に相談してください。
- ◆ お子さんの耳の中はキレイですか？ 耳あかが詰まっていると、外耳炎になったり、ふやけた耳あかが耳を塞いでしまい、聴こえが悪くなったりします。家庭で耳掃除を頑張りすぎると傷がついてしまうこともあるので、耳あかがあるようなら耳鼻科の受診をお勧めします。
- ◆ 水いぼがあってもプールは可能です。専門医を受診し、医師の指示に従ってください。ただし、水いぼを取る処置をした場合、最低3日間はプールに入れません。掻き壊してしまったときも、傷口が乾くまでは入れません。また、水いぼのある部分は水着やラッシュガード等で覆ってください。

② 夏の健康チェックポイント

日頃より登園前の体調チェックのご協力ありがとうございます。夏の感染症は、冬と比べると咳や鼻水は少なく、肺炎等に進行することは稀です。喉の痛みが強いものが多いので、水分補給に注意しましょう。

【治癒証明書が必要です】

プール熱(アデノウイルス感染症)

流行性角結膜炎

【登園届が必要です】

ヘルパンギーナ

手足口病

溶連菌感染症